

授業科目 比較技術研究 I	単位 2 単位
授業担当者 飯田 卓	授業期間 前期
授業の題目と概要 「技術の伝承と流用、創作」 伝播論にもとづく技術論・物質文化論を紹介し、現代における技術をとらえるうえでの問題点を明らかにする。そののち、技術の習得とカスタマイズという観点から、工業製品の利用をも含むさまざまな技術変化について検討する。近年よくとりあげられるエイジェンシー理論についても検討する。	
授業の内容と計画 ① 伝播論にもとづく技術論：船舶の製作・操縦体系や稲作体系といった複合的な技術に着目し、系を構成する各要素の結びつきを確認しながら、それが一定の地理的範囲に分布することの意味について検討する。 ② 技術の習得と伝承：とくに漁具や漁法を事例としながら、技術の習得がおこなわれる条件をふまえつつ、後代への継承がどのように起こるかを検討する。あわせて、受講者による研究事例も発表してもらい、比較検討する。 ③ 技術の流用：あるていど技術を習得した者が、伝承とはちがった経路で技術を流用する過程について検討する。第 2 ステージと同様、漁具や漁法の事例を紹介したのち、受講者に研究事例を発表してもらおう。 ④ 技術の創作：個人による創意工夫が個人的な改良にとどまらず、あたらしい技術として広まる過程について検討する。第 2 および第 3 ステージと同様、漁具や漁法の事例を紹介したのち、受講者に研究事例を発表してもらおう。	
使用する参考書、参考論文等 授業の進行におうじて指示する。	
成績評価基準 第 2 ステージ以降における受講者自身の研究事例発表と、それにもとづく討論の発言を重視する。	
その他の留意事項	